

笠岡学園の5領域
人間関係・社会性

笠岡学園では、子どもたちが子ども同士や職員と一緒に活動する経験を積み重ね、『(人と)一緒にするのが楽しい!』

『待っていれば自分の番が来るぞ!』等の気持ちを育み、身近なお友達や大人との関係を深めています!

☆人間関係の形成・社会性を育む活動風景を一部ですが、紹介します☆ (担当:片山)

アタッチメント(愛着)の形成と安定

一緒に食事!



スキンシップ!



- ・視線を合わせて、気持ちを共有する
- ・楽しさを共有する
- ・あたたかな眼差し
- ・好きなことをたっぷり満足するまで行う
- ・共感する気持ちを育む

順番を待つ

あそびを通じた社会性の発達

人前が出る・注目する



- ・座る姿勢を取る
- ・自分の番が来ることを知る
- ・楽しみに待つ
- ・注目する



- ・楽しみながら自然と順番に並ぶ
- ・前の子が滑るのを待つ
- ・周りの子の様子を見る



- ・人前が出る
- ・歌に合わせて、めくる
- ・着席する
- ・注目する
- ・歌に合わせて手拍子する

手を繋いで散歩



- ・人と手を繋ぎ続ける
- ・隣の人とペースを合わせて歩く
- ・前の人に連なって歩く
- ・止まらず歩く

自己の理解と行動の調整

ルールに沿った活動



- ・ルールを聞く
- ・ルールを理解する
- ・ルールに沿って行動する

仲間づくりと集団への参加

興味を持つ・注目する

合図に合わせる



- ・司会の職員に注目する
- ・興味関心を持つ
- ・着席しておく
- ・子ども同士で協力する



- ・合図まで期待して待つ
- ・一緒に走る
- ・子ども同士で一緒に遊ぶことを楽しいと感じる

・『社会性』とは社会の中で、そして集団の一員として生活していく中で、周りの人と良好で円滑な関係を築く能力や行動のことです。

・例えば『困った時や手伝ってほしい時などに、要求表現で伝えられる』『ありがとう・ごめんなさいを伝える』等です。

・『人間関係を築くこと』『社会性』は、現在だけでなく将来に渡って必要な力です。そして、幼児期、学童期、青年期、成人期とライフステージによって求められる人間関係や社会性は変化していきます。

・今回紹介した場面は、ご自宅やお出掛け先(お店、公園等)でも似た場面があると思います。無理のない範囲で『やりたいこと・欲しいものを身近な大人に伝える』『手伝いを求める』『お礼を言う』『状況に合わせた行動をとる(口を閉じる、座っておく、注目する等)』『順番を待つ』『簡単なルールを守る』などに取りくんできて頂ければと思います。

・将来を見据えながら、ご家族、子ども同士、関わる大人等と良好な人間関係を形成できるよう、幼児期から同年齢・異年齢の子ども達や様々な大人と関わる機会を設け、経験を積んでいきましょう♪